

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年11月30日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2.、下段になります。12月4日火曜日、(3) 第7回地震・津波技術評価検討会、こちらの開催が午前中に予定されております。こちらは先般もございました個別の安全研究プロジェクトについての評価を分野ごとに行っている検討会、そちらの地震・津波関係の検討会でございます。こちらの会議では、地震・津波関係の研究プロジェクト1件についての事前評価について議論が行われる予定でございます。

次に、2ページ目、(4) 第658回の審査会合についてでございます。こちらの会合では2件についての審査が現時点で予定されております。

まず、1件目、九州電力・川内発電所1号機、2号機につきまして、安全保護盤の交換に係る工事計画認可に関します審査が行われる予定でございます。こちらは、前回、概要をお聞きしましたので、それについてのコメント回答の予定でございます。

次に、2件目といたしまして、関西電力・高浜発電所3号機、4号機につきまして、こちらは緊急時対策所の移設に係る工事計画認可についての審査が予定されております。現地の全体的な状況をお聞きするという予定でございます。

次に、同じく2ページ目中段、12月6日木曜日、(7) 第8回維持規格の技術評価に関する検討チームが午前中に開催される予定でございます。こちらの検討チームは、亀裂等についての非破壊検査及び評価の方法について、学協会規格の技術評価に関して検討を行っているものでございます。

第8回目の今回の会合では、議題1にございます溶接継手の試験程度の問題につきまして、外国における動向について報告をして、技術的な議論が行われる予定でございます。

また、議題2におきまして、その他の技術評価の論点について議論が行われる予定でございます。

次に、(8) 第659回の審査会合の開催が予定されております。こちらは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。議題、審査の対象は、関西電力・高浜発電所1号機、2号機の工事計画認可についての審査が行われる予定でございます。

います。

次に、3ページ目上段、(9)、同日12月6日でございますが、第24回の東海再処理施設等安全監視チーム、こちらが午後に開催される予定でございます。議題は、記載されておりますとおり、4件、現時点で予定されております。

まず、議題1でございます東海再処理施設につきまして、ガラス固化の再開に向けた準備状況の説明をお聞きする予定でございます。

次に、議題2といたしまして、同じく東海再処理施設につきまして、廃止措置計画に係る変更申請等についてということで、廃止措置計画の変更申請が提出予定のものも含めまして数件あるという状況でございますので、こちらの内容について説明を聞き、議論を行うという予定でございます。

次に、議題3では、原子力研究開発機構全体のバックエンドロードマップ案の検討状況ということで、廃棄物や核燃料物質の管理などの問題につきまして、JAEAにおいてロードマップを策定中ということでございます。そちらの状況につきまして、前回も説明を聞いたところですが、それに続いて説明を聞き、議論が行われるという予定でございます。

次に、議題4といたしまして、原子力科学研究所廃棄物処理場のドラム缶の健全性確認について議論を行う予定でございます。こちらは先日11月21日の原子力規制委員会におきまして、本件、原科研の廃棄物処理場のドラム缶の確認の問題につきまして、こちらの東海再処理施設等安全監視チームにおいて確認を行っていくという方針が了承されたところでございます。その方針に従いまして、こちらのチームで健全性確認ということで、状況について説明を聞くという予定でございます。

最後に、3ページ目中段、3.委員の現地調査の予定が1件入っております。関西電力・大飯発電所の現地調査、こちらを12月7日金曜日に行うということで、石渡委員ほか職員が調査に行く予定となっております。この現地調査では、大飯発電所の3号炉、4号炉の緊急時対策所の設置につきまして、地質・地質構造の確認を行うという予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますでしょうか。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

分かったらで結構なのですが、3ページ一番上、東海再処理施設の監視チームですけれども、東海再処理施設の廃止計画に係る変更申請が出るということなのですが、

これは何か内容が分かりましたら、何と何についてというのが分かりましたら教えてくださいませんか。

○大熊総務課長 こちらの廃止措置計画は、たしか6月に認可されたところですが、その後、様々な準備・対応の進展に応じて逐次変更していくということで進めているものでありまして、これまでに提出されておりますものがたしか3件というふうに承知しております。10月に提出されているものが、内容は幾つかありますが、一例を挙げれば、ガラス固化体容器の製作などについてということであります。それから、11月上旬に2件提出がございまして、基準地震動の関係と、それから、やはりガラス固化体の保管能力の増強の関係ということであります。また、今後、2つほど提出される予定のものがあるということがございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—